



# 会報

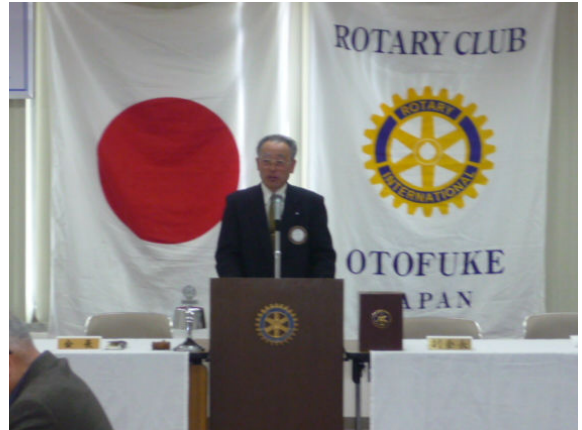


## 第825回 例会報告 2011年3月23日

例会日 水曜日 12:30~13:30  
 例会場 ハピオ木野コミュニティホール  
 創立 平成5年10月19日

会長 谷口 善一  
 副会長 高倉 功和  
 幹事 野村 泰司

事務局 河東郡音更町木野大通西7丁目1  
 ハピオ木野内・Tel&Fax (0155)30-2347



谷口会長挨拶

起立 石王 亨 SAA  
 握手 谷口 善一 会長  
 点鐘 石王 亨 SAA  
 開会宣言 それでこそロータリー  
 ロータリーソング



### 次週からのプログラム

3月30日 (水) 特別休会日  
 4月6日 (水) 会員卓話 12:30~青木会員  
 4月13日 (水) 会員卓話 12:30~  
 4月20日 (水) 会員卓話 12:30~

### 会長挨拶 谷口 善一 会長

今日は、先週の例会では震災が起きて間もなくということ、皆さんで黙禱をいたしましたけれど、それから一週間経過いたしました。少しは落ち着いてくるかと思っておりましたが、あまりの被害の大きさ又、原発の問題も加わり、全く先の見通しが立たない状況であります。

被害に遭われた方々には、1日でも早く良い方向に進むよう心よりお祈りすると共に、我々も微力ながら少しでも何かのお役に立てればと考える毎日です。

二つ二つ献金

- 小野 信次 会員 もうそこに春
- 高橋 辰雄 会員 妻の誕生祝のお花ありがとう
- 宇野 瑛右 会員 母さんの誕生祝のお花ありがとう
- 牛来 正男 会員 誕生日のお花ありがとう
- 黒川 吉一 会員 誕生日のお花ありがとう

会員卓話 中川 皓三郎 会員  
(大谷短期大学 学長)

皆さん、こんにちは。  
本日は、我々の大学の入学の精神となるものについて、お話をさせていただきます。

浄土真宗という教えが基となっております。人間が人間であることを失わない、人間らしく生きていく道というものを親鸞は、浄土真宗という言葉で教えているのです。

真宗という言葉の意味は、<宗>すなわち、かなめという意味です。肝心要という言葉がありますけれども、しぼられる、それがあるから生きていける、それが無くなったら生きていけない、それらを差して真宗と言うのです。

ですから、どんな人も、例えばキリストの教えに生きる人も日蓮の教えに生きる人も又、自分は宗教などもたないと言う人であっても、真宗というものをもちたずには生きていけないのです。

我々は、この世に生きる限り、何があっても問われることのない拠り所というものをもちたずには生きていくことが出来ないのです。その事を真宗というのです。

その中で、改めて浄土真宗という事ですが、浄土こそが真宗である。浄土という言葉で、語られるそういう世界。

いま生きているその中で、人はどんな困難にも負けずに生きていける、このような教えが、浄土真宗の教えです。



2011年3月23日 千葉 悟 出席委員長

出席報告

例会	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席者	メークアップ	欠席	出席率
823回	42	20	2	20	52.4%
825回	42	24	0	18	57.1%

例会案内

- <月曜日> 広尾 R C : 日高信金広尾支店2F
- <水曜日> 音更 R C : ハビオ木野コミュニティB
- <木曜日> 足寄 R C : 足寄銀河ホール
- 帯広南 R C : 北海道ホテル
- 帯広 R C : ホテルノースランド帯広
- 清水 R C : 清水町中央公民館
- <火曜日> 芽室 R C : めむろーど2FセミナーホールII
- 上士幌 R C : 川村会館
- 帯広西 R C : 北海道ホテル
- 帯広東 R C : 帯広ワシントンホテル
- <金曜日> 帯広北 R C : ホテルノースランド帯広

発行元：音更ロータリークラブ 会報委員会

中山正良・白木幸久・小高良樹・高橋辰雄・阿部英輝・原田稔三・前田敏・佐藤誠・小枝秀則